

# 機器接続マニュアル



## 機器接続マニュアルに関する注意事項

本書を正しくご使用いただくために、ご使用前に必ず「マニュアルPDFをダウンロードする前に」をお読みいただき、「はじめに(商標権などについて、対応機種一覧、マニュアルの読み方、表記のルール)」マニュアルをダウンロードしてください。ダウンロードされたマニュアルは、必ずご利用になる場所のお手元に保管し、いつでもご覧いただけるようにしておいてください。

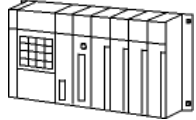


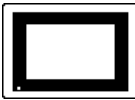
## 2.9 豊田工機（株）製 PLC

### 2.9.1 システム構成

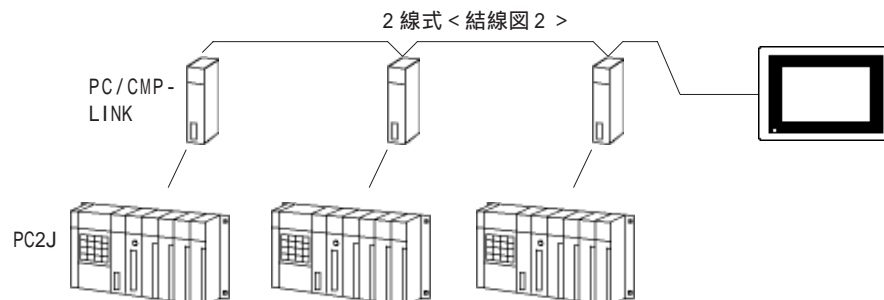
豊田工機（株）製 PLC と GP を接続する場合のシステム構成を示します。

< 結線図 > は 2.9.2 結線図をご参照ください。

TOYOPUC-PC2 シリーズ（リンク I/F 使用）

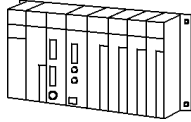



CPU	リンク I/F	結線図	GP
	コンピュータ リンクモジュール/リンク ユニット 		
PC2, L2	TLU-2652（コンピュータリンクモジュール）	RS-422 < 結線図1 >	GPシリーズ
PC2J	THU-2755（PC/CMPリンクユニット）		
	THU-2755	RS-422 （1:n通信） <sup>*1</sup> < 結線図2 >	

\*1 豊田工機（株）製 PLC「PC2J」（n台）と、GP（1台）を、上位リンクプロトコルを利用して1:nの通信を実現する場合のシステム構成を示します。



- ・ システムの中で使用する GP は、必ず 1 台にしてください。
- ・ リンク上には GP 1 台に対し、PC2J は最大 16 台接続できます。

## TOYOPUC-PC3J

CPU	リンクI/F	結線図	GP
			
PC3J	CPUユニット上のリンクI/F	RS-422(4線式) <結線図3>	GPシリーズ
		RS-422(2線式) <結線図4>	
		RS-422(4線式)(1:n) <結線図5>	
		RS-422(2線式)(1:n) <結線図6>	
	PC/CMP-LINK (THU-2755) *1	RS-422(2線式) <結線図7>	
		RS-422(2線式)(1:n) <結線図8>	
PC3JD PC3JG	CPUユニット上のリンクI/F	RS-422(2線式) <結線図1>	
		RS-422(2線式)(1:n) <結線図2>	
	PC/CMP-LINK (THU-2755) *1	RS-422(2線式) <結線図1>	
		RS-422(2線式)(1:n) <結線図2>	

\*1 PC/CMP-LINK(THU-2755)をPC3Jのコマンドで使用する場合には、Ver.5.00以上が必要です。  
また、リンクユニットにはPC2JもしくはPC3Jの切り替えスイッチ(SW)等の設定はありません。  
Ver.5.00未満のリンクユニットに対してPC3Jのコマンドを送るとエラーとなります。



- ・ PLC は最大 16 台接続できます。
- ・ 接続ケーブルとして中国電線工業（株）製 2重シールド0-VCTF-SS 2C\*0.75mm<sup>2</sup>を推奨します。
- ・ ケーブルの長さは最長600mです。

## 2.9.2 結線図

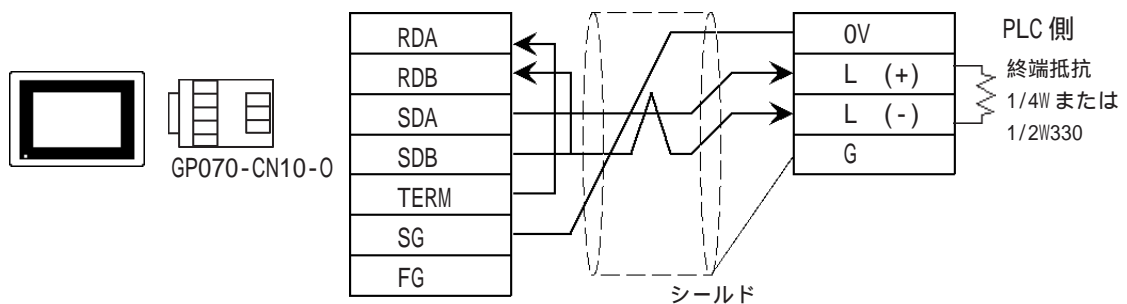
以下に示す結線図と豊田工機(株)の推奨する結線図が異なる場合がありますが、以下に示す結線図でも動作上問題はありません。

**強制** ・ PLC本体のFG端子は、D種接地を行ってください。

- 重要**
- ・ シールド線へのFGの接続は、設置環境によってPLC側、GP側のどちらかを選択してください。
  - ・ 通信ケーブルを結線する場合は、必ずSGを接続してください。
  - ・ RS-422接続の場合、ケーブル長は豊田工機(株)のマニュアルを参照してください。

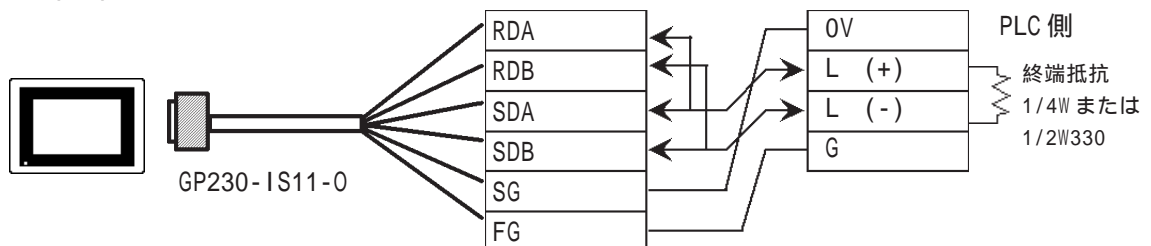
### < 結線図 1 > RS-422

- ・ (株)デジタル製RS-422コネクタ端子台変換アダプタ GP070-CN10-0を使用する場合



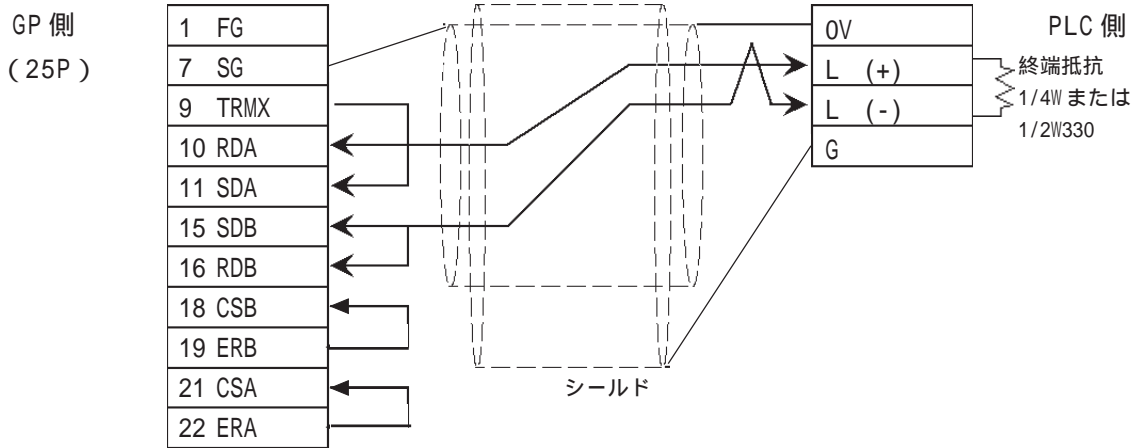
- ・ 端子 SDA と RDA を端子台の L ( + ) に、また SDB と RDB を端子台の L ( - ) に重ね止めします。

- ・ (株)デジタル製RS-422ケーブル GP230-IS11-0を使用する場合



- ・ 端子 SDA と RDA を端子台の L ( + ) に、また SDB と RDB を端子台の L ( - ) に重ね止めします。
- ・ RS-422接続の場合、ケーブル長は豊田工機(株)のマニュアルを参照してください。

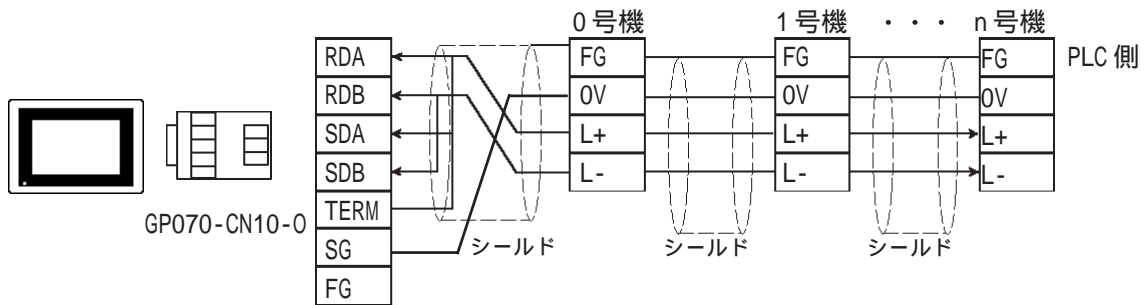
・ ケーブルを加工する場合



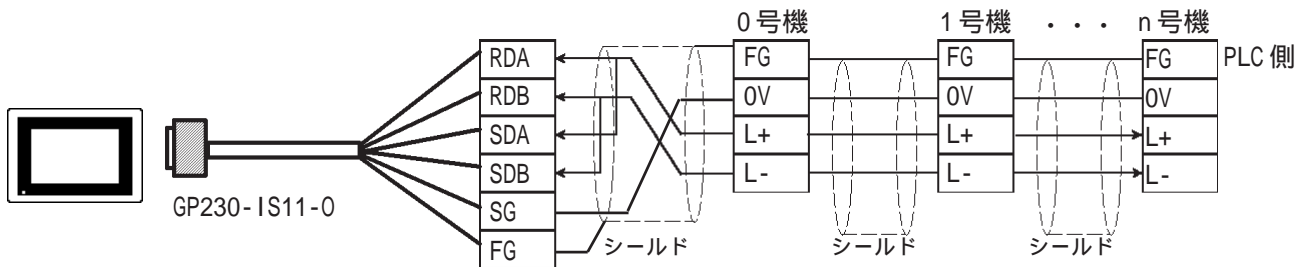
- ・ 接続ケーブルとして2重シールドツイストペアケーブル
- ・ 中国電線工業（株）製 0-VCTF-SS2C\*0.75mm<sup>2</sup> を推奨します。
- ・ GP側シリアルI/Fの9番ピンと10番ピンを接続することにより、RDA-RDB間に100Ωの終端抵抗が挿入されます。

< 結線図 2 > RS-422

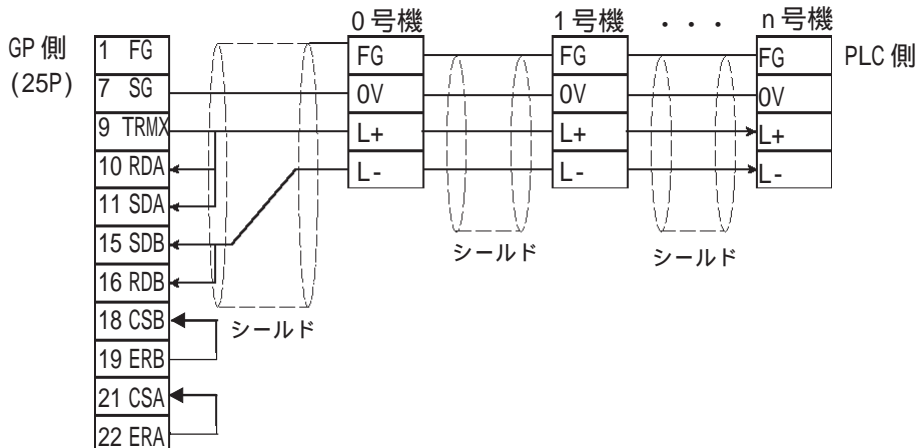
- ・ (株) デジタル製 RS-422 コネクタ端子台変換アダプタ GP070-CN10-0 を使用する場合



- ・ (株) デジタル製 RS-422 ケーブル GP230-IS11-0 を使用する場合

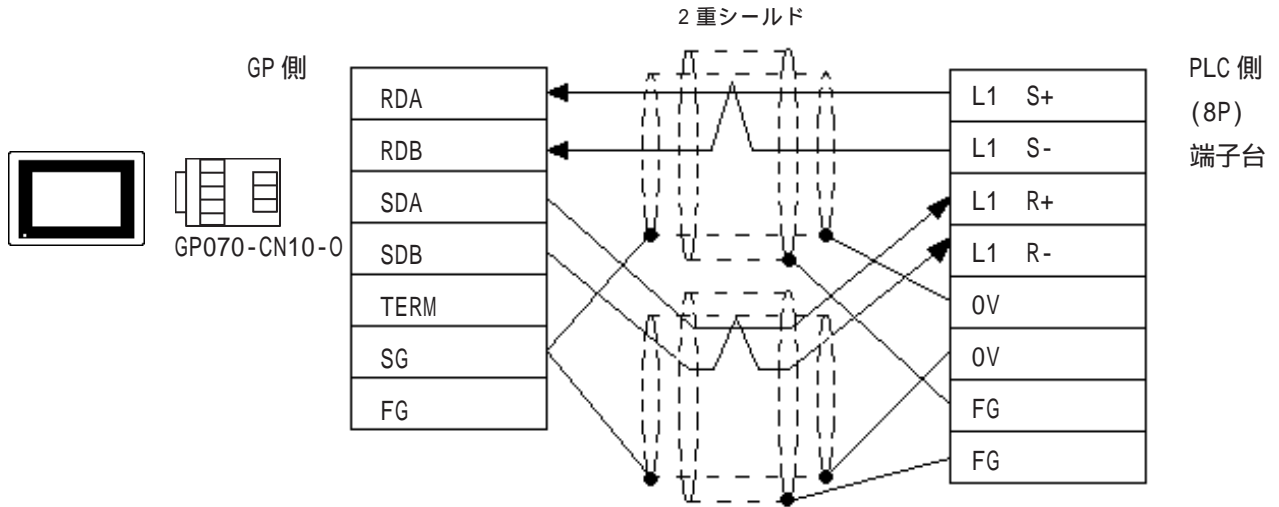


- ・ ケーブルを加工する場合



< 結線図 3 > 1:1 RS-422 (4線式)

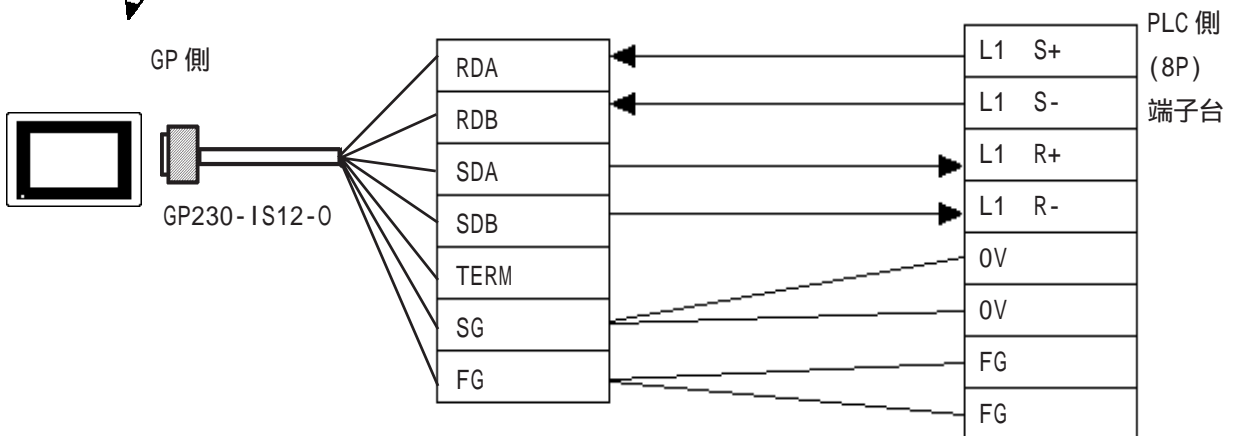
- ・ (株) デジタル製 RS-422 コネクタ端子台変換アダプタ GP070-CN10-0 を使用する場合



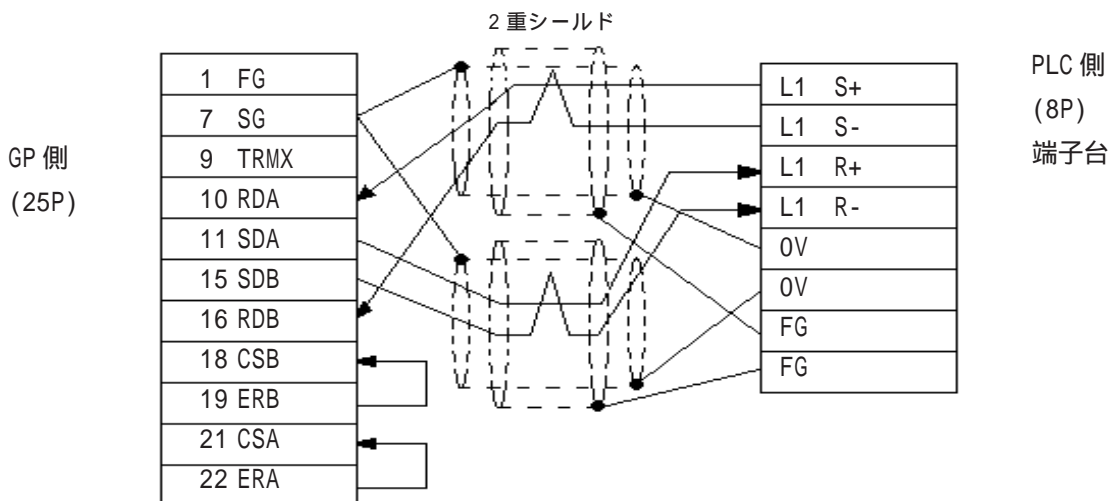
- ・ (株) デジタル製 RS-422 ケーブル GP230-IS12-0 を使用する場合



・ ノイズが発生しやすいような環境では2重シールドケーブルを使用した他の結線をご使用ください。

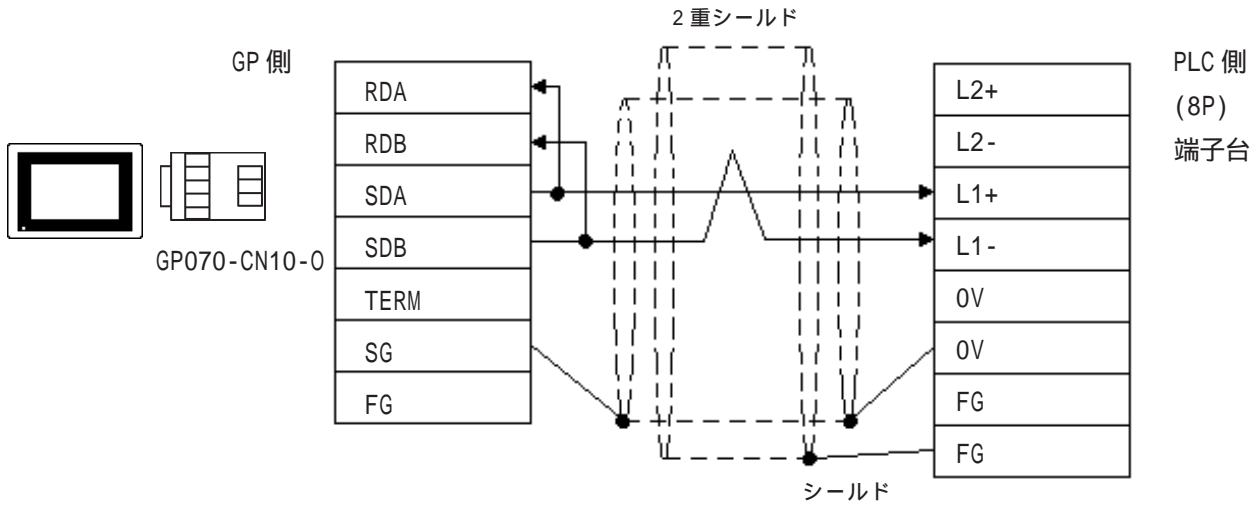


- ・ ケーブルを加工する場合



< 結線図 4 > 1:1 RS-422 (2線式、CPUユニット上の I/Fユニット)

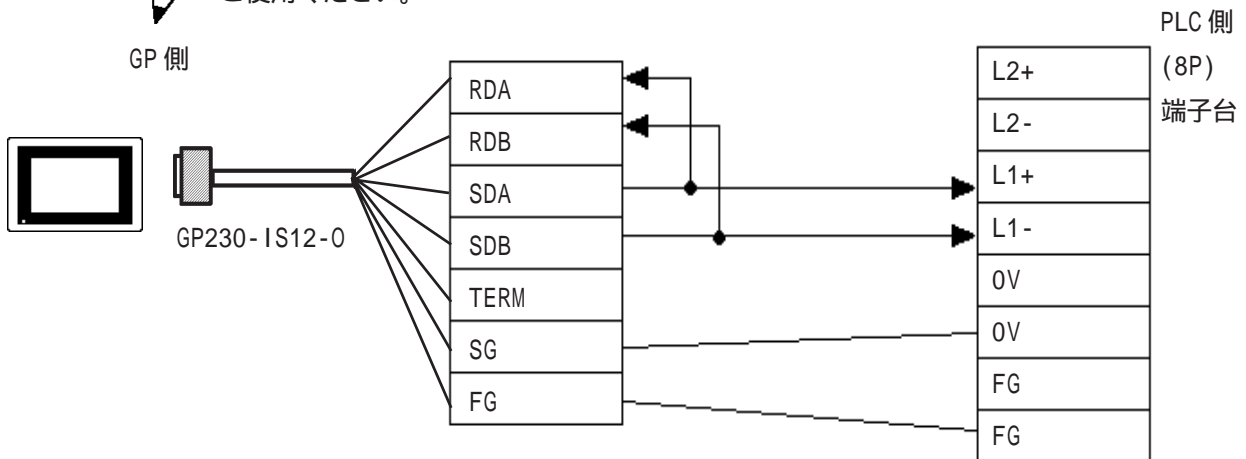
- ・ (株) デジタル製 RS-422 コネクタ端子台変換アダプタ GP070-CN10-0を使用する場合



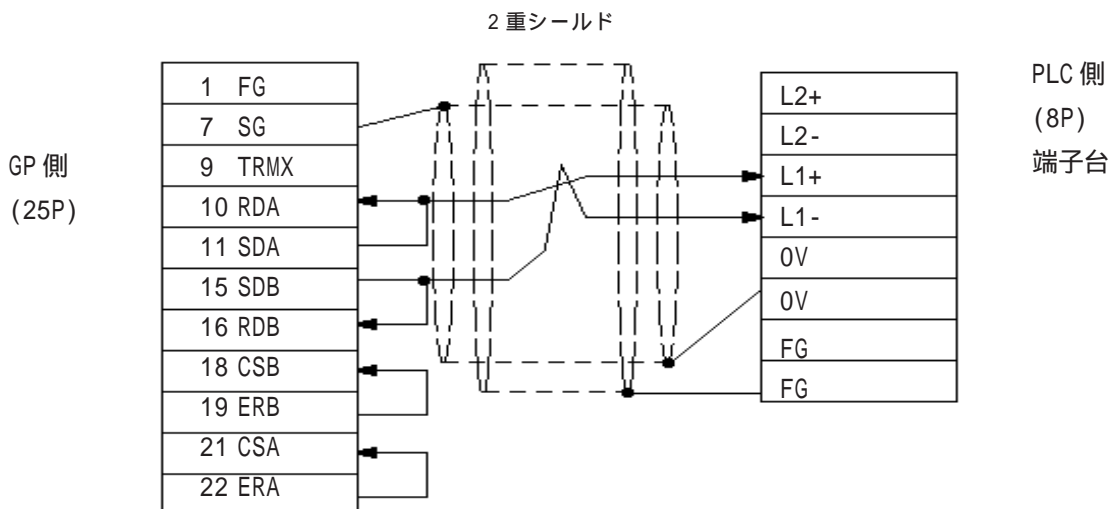
- ・ (株) デジタル製 RS-422 ケーブル GP230-IS12-0を使用する場合



・ノイズが発生しやすいような環境では2重シールドケーブルを使用した他の結線をご使用ください。

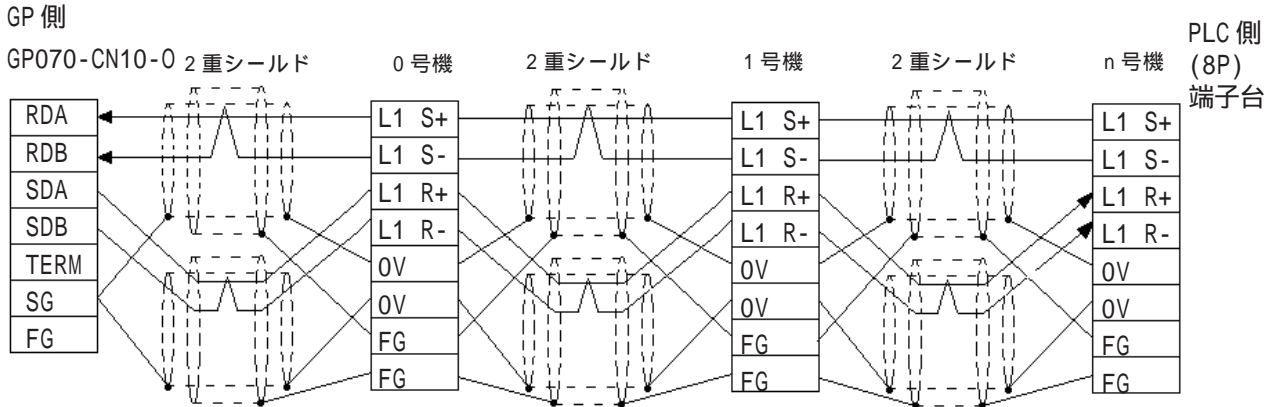


- ・ ケーブルを加工する場合



< 結線図5 > 1:n 接続 RS-422 (4線式)

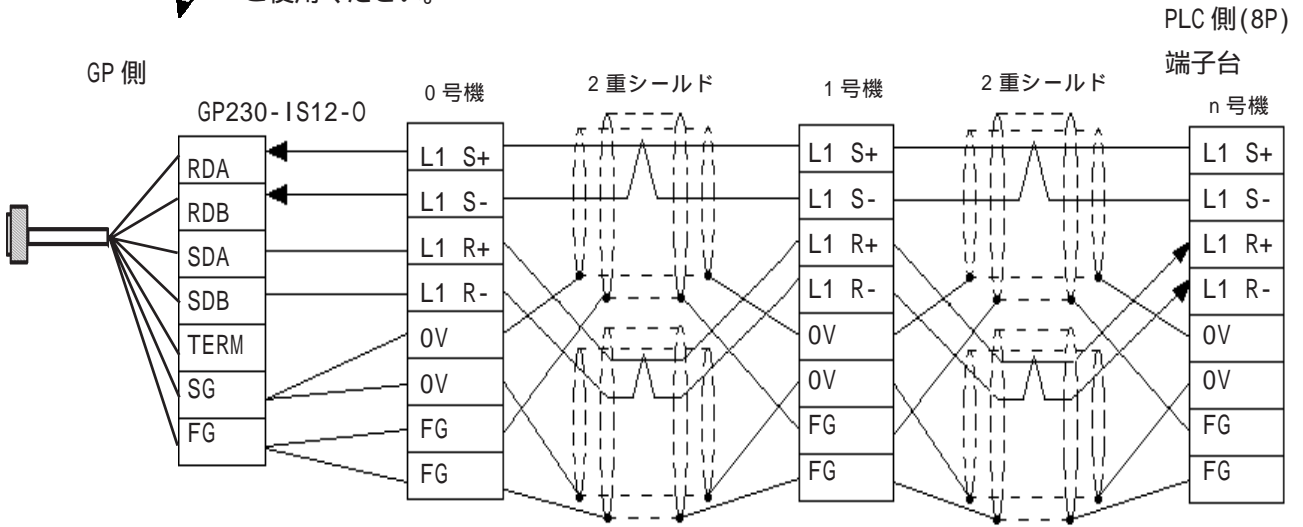
- ・ (株)デジタル製RS-422 コネクタ端子台変換アダプタ GP070-CN10-0を使用する場合



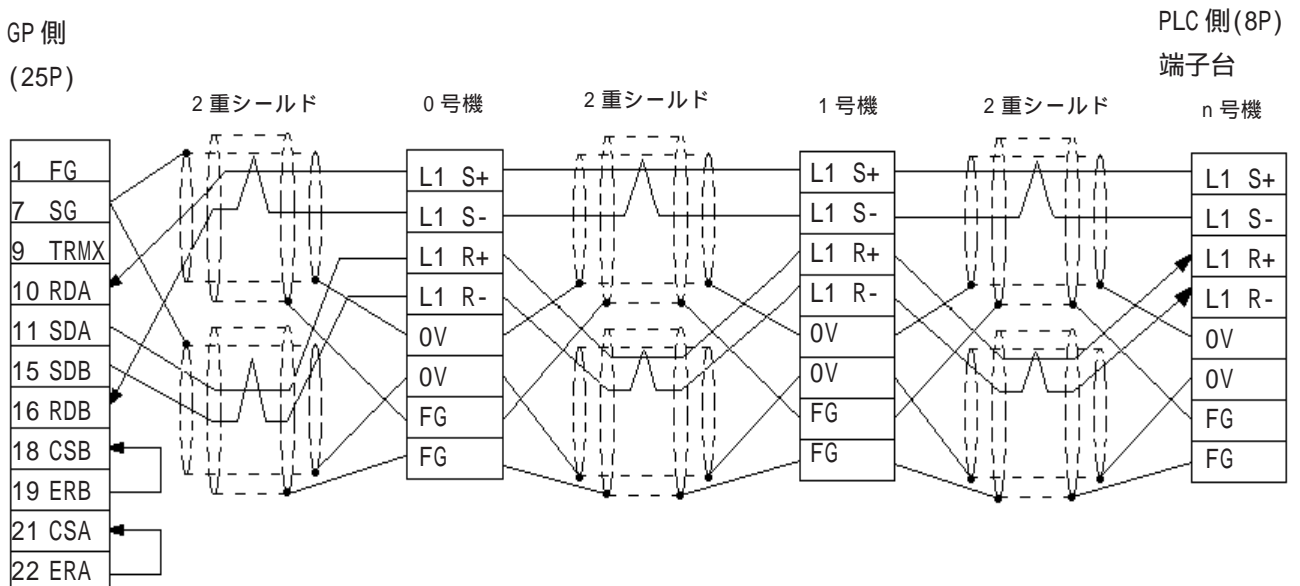
- ・ (株)デジタル製RS-422 ケーブル GP230-IS12-0を使用する場合



・ノイズが発生しやすいような環境では2重シールドケーブルを使用した他の結線をご使用ください。



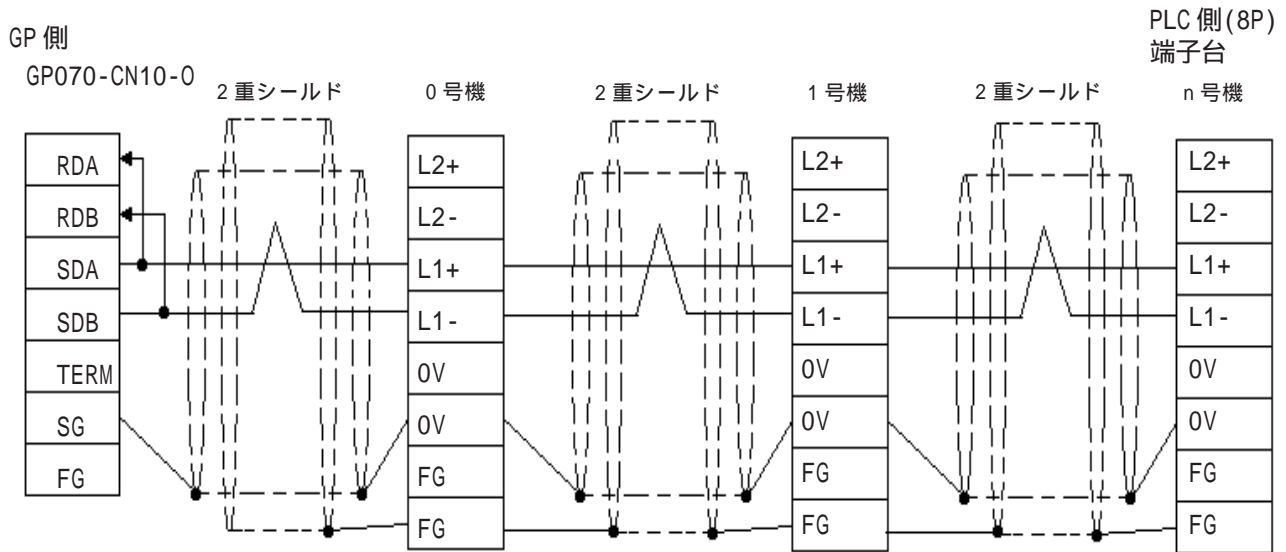
- ・ ケーブルを加工する場合





< 結線図 6 > 1:n RS-422 (2線式、CPUユニット上のI/Fユニット)

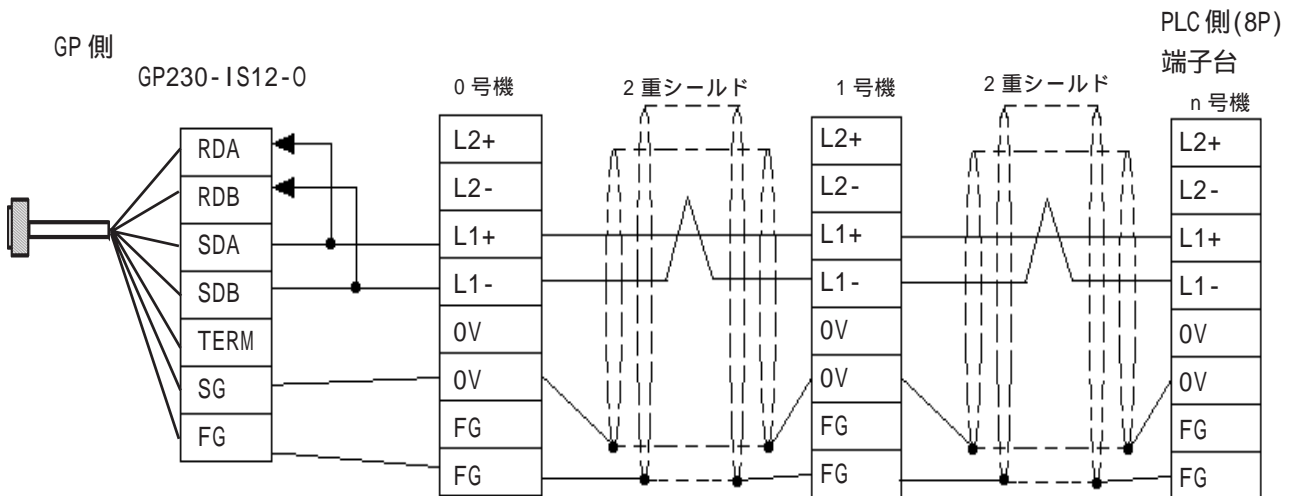
・ (株) デジタル製 RS-422 コネクタ端子台変換アダプタ GP070-CN10-0 を使用する場合



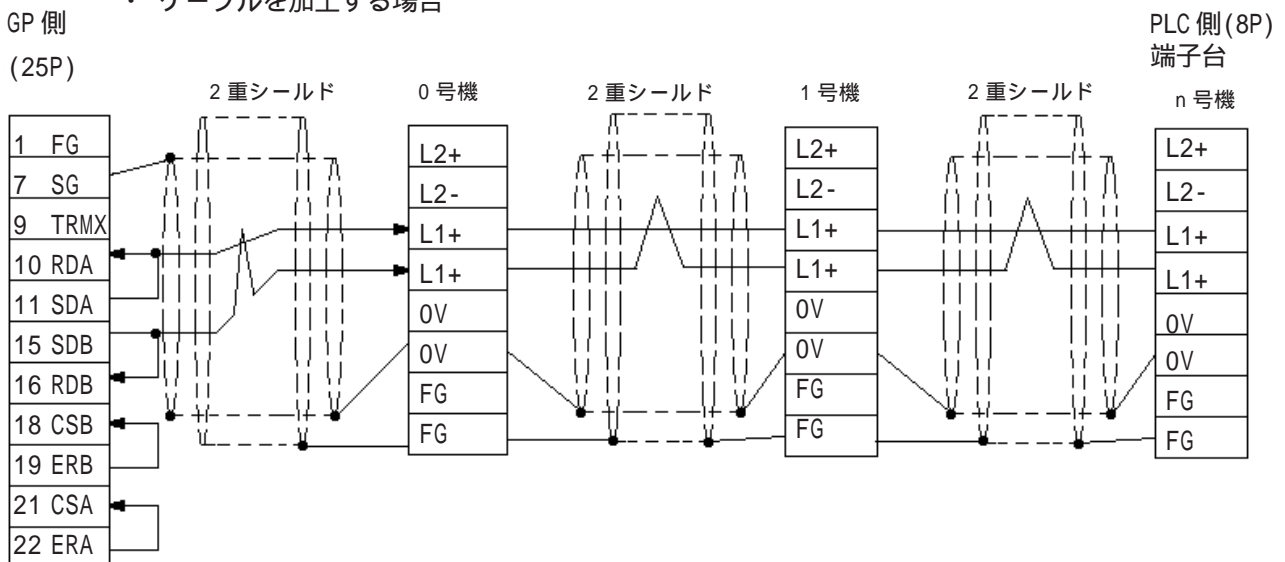
・ (株) デジタル製 RS-422 ケーブル GP230-IS12-0 を使用する場合



・ ノイズが発生しやすいような環境では2重シールドケーブルを使用した他の結線をご使用ください。

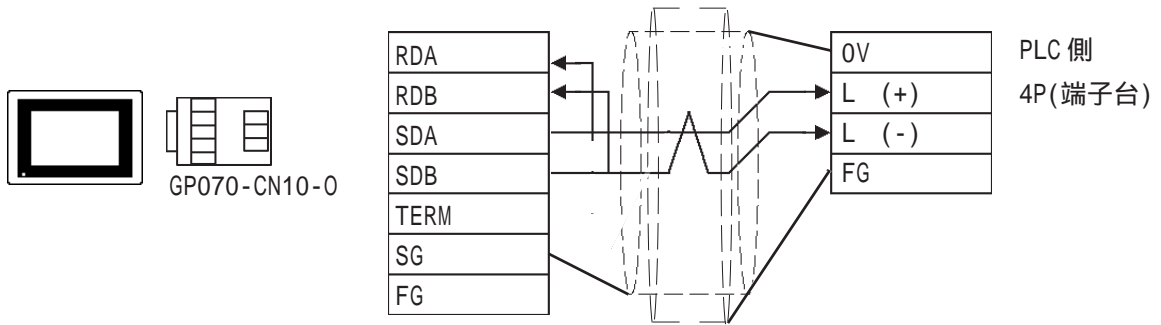


・ ケーブルを加工する場合



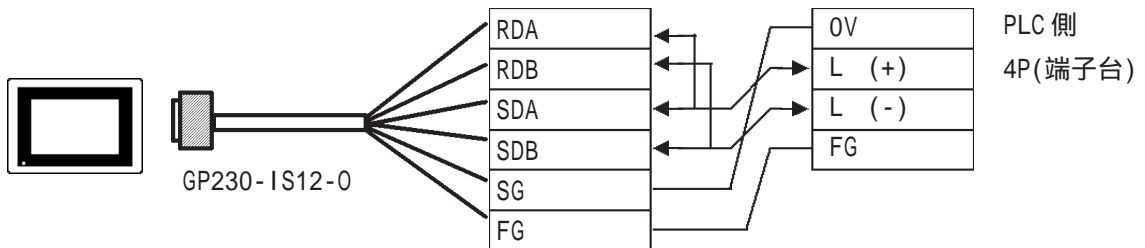
< 結線図 7 > 1:1 RS-422 < PC/CMP-LINK > (2線式)

- ・ (株)デジタル製RS-422 コネクタ端子台変換アダプタ GP070-CN10-0を使用する場合

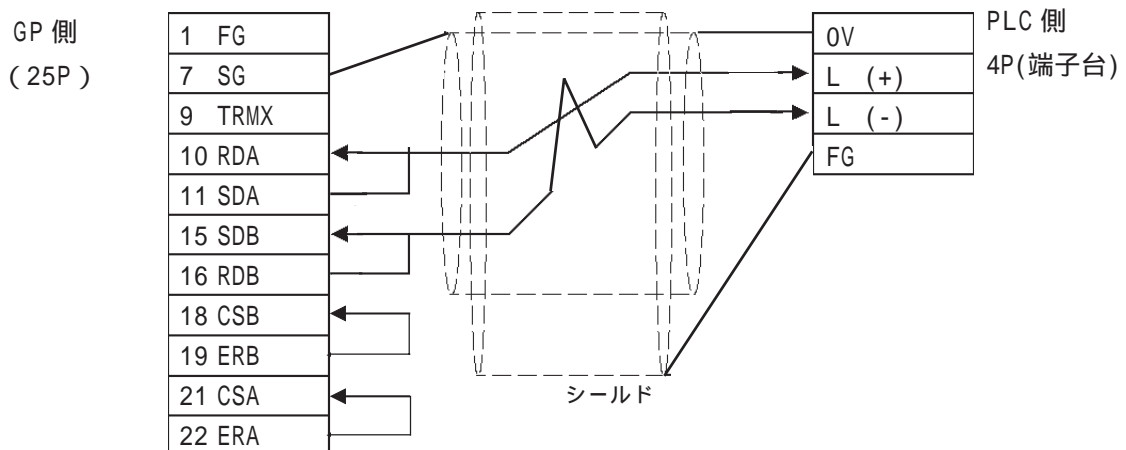


- ・ (株)デジタル製RS-422 ケーブル GP230-IS12-0を使用する場合

**MEMO** ・ノイズが発生しやすいような環境では2重シールドケーブルを使用した他の結線をご使用ください。

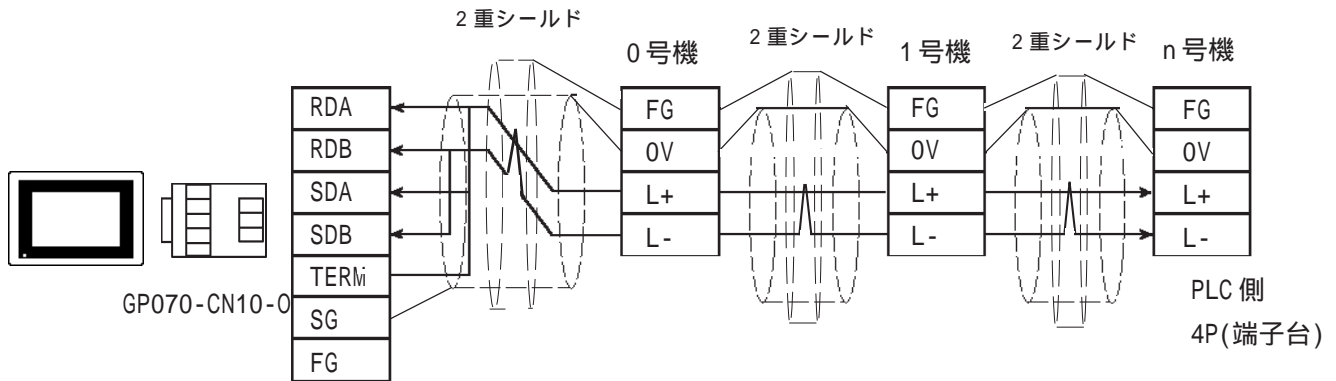


- ・ ケーブルを加工する場合



< 結線図 8 > 1:n RS-422 < PC/CMP-LINK > (2線式)

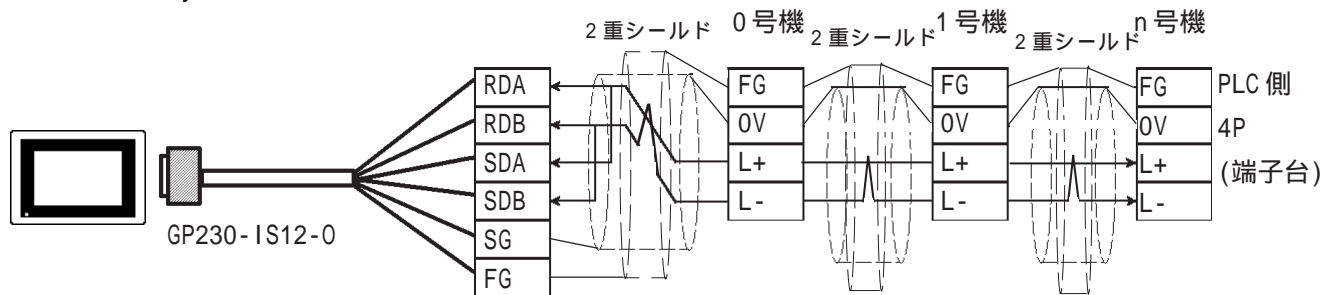
・ (株) デジタル製 RS-422 コネクタ端子台変換アダプタ GP070-CN10-0 を使用する場合



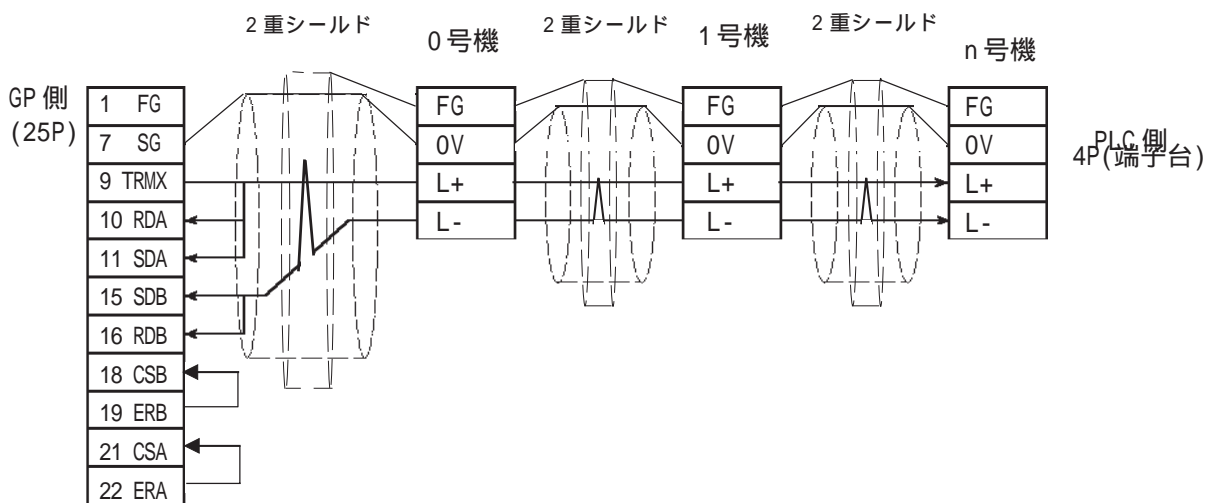
・ (株) デジタル製 RS-422 ケーブル GP230-IS12-0 を使用する場合



・ ノイズが発生しやすいような環境では2重シールドケーブルを使用した他の結線をご使用ください。



・ ケーブルを加工する場合



## 2.9.3 使用可能デバイス


GPでサポートしているデバイスの範囲を示します。

## TOYOPUC-PC2 シリーズ

 は、システムエリアに指定可能

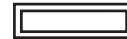
デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	備考	
入力リレー	X000 ~ X7FF	X000 ~ X07F	L/H	
出力リレー	Y000 ~ Y7FF	Y000 ~ Y07F		
内部リレー	M000 ~ M7FF	M000 ~ M07F		
キープリレー	K000 ~ K2FF	K000 ~ K02F		
リンクリレー	L000 ~ L7FF	L000 ~ L07F		
特殊リレー	V000 ~ V0FF	V000 ~ V00F		
エッジ検出	P000 ~ P1FF	—————		
タイマ（接点）	T000 ~ T1FF	—————		
カウンタ（接点）	C000 ~ C1FF	—————		
現在値レジスタ	—————	N0000 ~ N01FF		
データレジスタ	—————	 D0000 ~ D2FFF		
リンクレジスタ	—————	R0000 ~ R07FF		
ファイルレジスタ	—————	B0000 ~ B1FFF		
特殊レジスタ	—————	S0000 ~ S03FF		

## TOYOPUC-PC2 シリーズ（1:n 接続）

 は、システムエリアに指定可能

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	備考	
入力リレー	X0000 ~ X07FF	X0000 ~ X007F	L/H	
出力リレー	Y0000 ~ Y07FF	Y0000 ~ Y007F		
内部リレー	M0000 ~ M07FF	M0000 ~ M007F		
キープリレー	K0000 ~ K02FF	K0000 ~ K002F		
リンクリレー	L0000 ~ L07FF	—————		
特殊リレー	V0000 ~ V00FF	—————		
エッジ検出	P0000 ~ P01FF	—————		
タイマ（接点）	T0000 ~ T01FF	—————		
カウンタ（接点）	C0000 ~ C01FF	—————		
現在値レジスタ	—————	N0000 ~ N01FF		
データレジスタ	—————	 D0000 ~ D0FFF		
リンクレジスタ	—————	R0000 ~ R07FF		
ファイルレジスタ	—————	B0000 ~ B0FFF		
特殊レジスタ	—————	S0000 ~ S03FF		

## TOYOPUC-PC3J シリーズ (1:1 接続)



は、システムエリアに指定可能

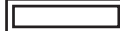
デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	備考
入力	1X0000 ~ 1X07FF	1X0000 ~ 1X007F	*1
	2X0000 ~ 2X07FF	2X0000 ~ 2X007F	
	3X0000 ~ 3X07FF	3X0000 ~ 3X007F	
出力	1Y0000 ~ 1Y07FF	1Y0000 ~ 1Y007F	*1
	2Y0000 ~ 2Y07FF	2Y0000 ~ 2Y007F	
	3Y0000 ~ 3Y07FF	3Y0000 ~ 3Y007F	
内部リレー	1M0000 ~ 1M07FF	1M0000 ~ 1M007F	
	2M0000 ~ 2M07FF	2M0000 ~ 2M007F	
	3M0000 ~ 3M07FF	3M0000 ~ 3M007F	
キープリレー	1K0000 ~ 1K02FF	1K0000 ~ 1K002F	
	2K0000 ~ 2K02FF	2K0000 ~ 2K002F	
	3K0000 ~ 3K02FF	3K0000 ~ 3K002F	
リンクリレー	1L0000 ~ 1L07FF	1L0000 ~ 1L007F	
	2L0000 ~ 2L07FF	2L0000 ~ 2L007F	
	3L0000 ~ 3L07FF	3L0000 ~ 3L007F	
特殊リレー	1V0000 ~ 1V00FF	1V0000 ~ 1V000F	
	2V0000 ~ 2V00FF	2V0000 ~ 2V000F	
	3V0000 ~ 3V00FF	3V0000 ~ 3V000F	
エッジ検出	1P0000 ~ 1P01FF	————	
	2P0000 ~ 2P01FF	————	
	3P0000 ~ 3P01FF	————	
タイマ	1T0000 ~ 1T01FF	1T0000 ~ 1T001F	*1
	2T0000 ~ 2T01FF	2T0000 ~ 2T001F	
	3T0000 ~ 3T01FF	3T0000 ~ 3T001F	
カウンタ	1C0000 ~ 1C01FF	1C0000 ~ 1C001F	*1
	2C0000 ~ 2C01FF	2C0000 ~ 2C001F	
	3C0000 ~ 3C01FF	3C0000 ~ 3C001F	
データレジスタ	1D00000 ~ 1D2FFFF	1D0000 ~ 1D2FFF	L/H
	2D00000 ~ 2D2FFFF	2D0000 ~ 2D2FFF	
	3D00000 ~ 3D2FFFF	3D0000 ~ 3D2FFF	
リンクレジスタ	1R00000 ~ 1R07FFF	1R0000 ~ 1R07FF	
	2R00000 ~ 2R07FFF	2R0000 ~ 2R07FF	
	3R00000 ~ 3R07FFF	3R0000 ~ 3R07FF	
特殊レジスタ	1S00000 ~ 1S03FFF	1S0000 ~ 1S03FF	
	2S00000 ~ 2S03FFF	2S0000 ~ 2S03FF	
	3S00000 ~ 3S03FFF	3S0000 ~ 3S03FF	
現在値レジスタ	1N00000 ~ 1N01FFF	1N0000 ~ 1N01FF	
	2N00000 ~ 2N01FFF	2N0000 ~ 2N01FF	
	3N00000 ~ 3N01FFF	3N0000 ~ 3N01FF	
ファイルレジスタ	B00000 ~ B1FFFF	B0000 ~ B1FFF	
拡張入力	EX0000 ~ EX07FF	EX0000 ~ EX007F	*1
拡張出力	EY0000 ~ EY07FF	EY0000 ~ EY007F	*1
拡張内蔵リレー	EM0000 ~ EM1FFF	EM0000 ~ EM01FF	
拡張キープリレー	EK0000 ~ EK0FFF	EK0000 ~ EK00FF	
拡張リンクリレー	EL0000 ~ EL1FFF	EL0000 ~ EL01FF	
拡張特殊リレー	EV0000 ~ EV0FFF	EV0000 ~ EV00FF	
拡張エッジリレー	EP0000 ~ EP0FFF	————	
拡張タイマ	ET0000 ~ ET07FF	ET0000 ~ ET007F	*1
拡張カウンタ	EC0000 ~ EC07FF	EC0000 ~ EC007F	*1
拡張特殊レジスタ	ES00000 ~ ES07FFF	ES0000 ~ ES07FF	
拡張現在値レジスタ	EN00000 ~ EN07FFF	EN0000 ~ EN07FF	
拡張設定値レジスタ	H00000 ~ H07FFF	H0000 ~ H07FF	
拡張データレジスタ	U00000 ~ U7FFFF	U0000 ~ U7FFF	
拡張2入力	GX0000 ~ GXFFFF	GX0000 ~ GX0FFF	*1*2
拡張2出力	GY0000 ~ GYFFFF	GY0000 ~ GY0FFF	*1*2
拡張2内部リレー	GM0000 ~ GMFFFF	GM0000 ~ GM0FFF	*2

\*1 XとY(EX, EY, GX, GY)、TとC(ET, EC)は重複してアドレスを使用することができません。

詳細は豊田工機(株)のマニュアルを参照してください。

\*2 PC3JGのCPU上のリンクI/Fでのみサポートされています。

## TOYOPUC-PC3J シリーズ (1:n 接続)

 は、システムエリアに指定可能

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	備考
入力	1X0000 ~ 1X07FF	1X0000 ~ 1X007F	*1
	2X0000 ~ 2X07FF	2X0000 ~ 2X007F	
	3X0000 ~ 3X07FF	3X0000 ~ 3X007F	
出力	1Y0000 ~ 1Y07FF	1Y0000 ~ 1Y007F	*1
	2Y0000 ~ 2Y07FF	2Y0000 ~ 2Y007F	
	3Y0000 ~ 3Y07FF	3Y0000 ~ 3Y007F	
内部リレー	1M0000 ~ 1M07FF	1M0000 ~ 1M007F	
	2M0000 ~ 2M07FF	2M0000 ~ 2M007F	
	3M0000 ~ 3M07FF	3M0000 ~ 3M007F	
キープリレー	1K0000 ~ 1K02FF	1K0000 ~ 1K002F	
	2K0000 ~ 2K02FF	2K0000 ~ 2K002F	
	3K0000 ~ 3K02FF	3K0000 ~ 3K002F	
リンクリレー	1L0000 ~ 1L07FF	1L0000 ~ 1L007F	
	2L0000 ~ 2L07FF	2L0000 ~ 2L007F	
	3L0000 ~ 3L07FF	3L0000 ~ 3L007F	
特殊リレー	1V0000 ~ 1V00FF	1V0000 ~ 1V000F	
	2V0000 ~ 2V00FF	2V0000 ~ 2V000F	
	3V0000 ~ 3V00FF	3V0000 ~ 3V000F	
エッジ検出	1P0000 ~ 1P01FF	————	
	2P0000 ~ 2P01FF	————	
	3P0000 ~ 3P01FF	————	
タイマ	1T0000 ~ 1T01FF	1T0000 ~ 1T001F	*1
	2T0000 ~ 2T01FF	2T0000 ~ 2T001F	
	3T0000 ~ 3T01FF	3T0000 ~ 3T001F	
カウンタ	1C0000 ~ 1C01FF	1C0000 ~ 1C001F	*1
	2C0000 ~ 2C01FF	2C0000 ~ 2C001F	
	3C0000 ~ 3C01FF	3C0000 ~ 3C001F	
データレジスタ	1D00000 ~ 1D0FFFF	1D0000 ~ 1D0FFF	L/H
	2D00000 ~ 2D0FFFF	2D0000 ~ 2D0FFF	
	3D00000 ~ 3D0FFFF	3D0000 ~ 3D0FFF	
リンクレジスタ	1R00000 ~ 1R07FFF	1R0000 ~ 1R07FF	
	2R00000 ~ 2R07FFF	2R0000 ~ 2R07FF	
	3R00000 ~ 3R07FFF	3R0000 ~ 3R07FF	
特殊レジスタ	1S00000 ~ 1S03FFF	1S0000 ~ 1S03FF	
	2S00000 ~ 2S03FFF	2S0000 ~ 2S03FF	
	3S00000 ~ 3S03FFF	3S0000 ~ 3S03FF	
現在値レジスタ	1N00000 ~ 1N01FFF	1N0000 ~ 1N01FF	
	2N00000 ~ 2N01FFF	2N0000 ~ 2N01FF	
	3N00000 ~ 3N01FFF	3N0000 ~ 3N01FF	
ファイルレジスタ	B00000 ~ B0FFFF	B0000 ~ B0FFF	
拡張入力	EX0000 ~ EX07FF	EX0000 ~ EX007F	*1
拡張出力	EY0000 ~ EY07FF	EY0000 ~ EY007F	*1
拡張内蔵リレー	EM0000 ~ EM0FFF	EM0000 ~ EM01FF	
拡張キープリレー	EK0000 ~ EK0FFF	EK0000 ~ EK00FF	
拡張リンクリレー	EL0000 ~ EL0FFF	EL0000 ~ EL01FF	
拡張特殊リレー	EV0000 ~ EV0FFF	EV0000 ~ EV00FF	
拡張エッジリレー	EP0000 ~ EP0FFF	————	
拡張タイマ	ET0000 ~ ET07FF	ET0000 ~ ET007F	*1
拡張カウンタ	EC0000 ~ EC07FF	EC0000 ~ EC007F	*1
拡張特殊レジスタ	ES00000 ~ ES07FFF	ES0000 ~ ES07FF	
拡張現在値レジスタ	EN00000 ~ EN07FFF	EN0000 ~ EN07FF	
拡張設定値レジスタ	H00000 ~ H07FFF	H0000 ~ H07FF	
拡張データレジスタ	U00000 ~ U0FFFF	U0000 ~ U0FFF	
拡張2入力	GX0000 ~ GXFFFF	GX0000 ~ GX0FFF	*1,*2
拡張2出力	GY0000 ~ GYFFFF	GY0000 ~ GY0FFF	*1,*2
拡張2内部リレー	GM0000 ~ GMFFFF	GM0000 ~ GM0FFF	*2

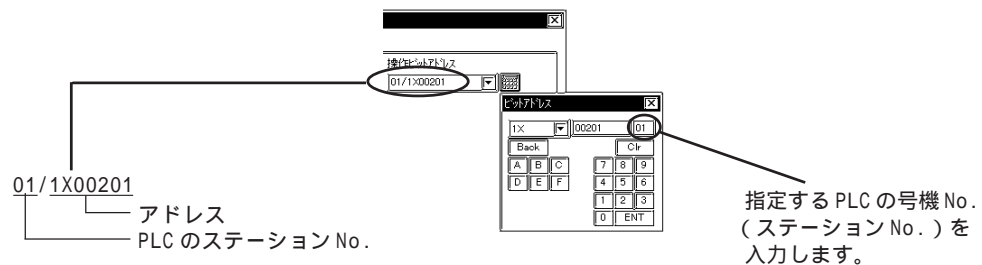
\*1 X と Y(EX,EY,GX,GY)、T と C(ET,EC)は重複してアドレスを使用することができません。

詳細は豊田工機(株)のマニュアルを参照してください。

\*2 PC3JG の CPU 上のリンク I/F でのみサポートされています。



- ・ 1:1接続と1:n接続の場合のデバイス範囲が一部異なります。また、PLCの最大接続数は16台です。
- ・ アドレスの範囲は、CPUの機種によって異なります。
- ・ 拡張2入力(GX)、拡張2出力(GY)、拡張2内部リレー(GM)デバイスはPC3JGのみ使用可能です。
- ・ GP-PRO/PB で部品やタグの設定を行う場合、アドレス入力時にPLCのステーションNo.の指定ができます。ステーションNo.を指定しなかった場合は、ひとつ前(前回)に入力された番号を継続します。(起動時のデフォルト値は「0」です)  
TOYOPUC-PC3Jの場合、PLC側の局番は8進数表記となりますが、GP側では10進数表記となります。入力時には、ご注意ください。



## 2.9.4 環境設定例

（株）デジタルが推奨する PLC 側の通信設定と、それに対応する GP 側の通信設定を示します。

### TOYOPUC-PC2 シリーズ（PC2/L2）

GPの設定		コンピュータリンクモジュールの設定	
伝送速度	19200bps	伝送速度	19200bps
データ長	8bit	データビット	8bit
ストップビット	1bit	ストップビット	1bit
パリティビット	偶数	パリティビット	偶数
制御方式	ER制御	_____	
通信方式	2線式	_____	
_____		カード種別	CMPリンク
_____		SET5	ウォッチドグタイムをON
号機No.	0	局番	0

### TOYOPUC-PC2 シリーズ（PC2J）

GPの設定		PC/CMPリンクユニットの設定	
伝送速度	19200bps	伝送速度	19200bps
データ長	8bit	データビット	8bit
ストップビット	1bit	ストップビット	1bit
パリティビット	偶数	パリティビット	偶数
制御方式	ER制御	_____	
通信方式	2線式	_____	
_____		内部スイッチ（SW4）	1をOFF 2をON
号機No.	1	局番	1



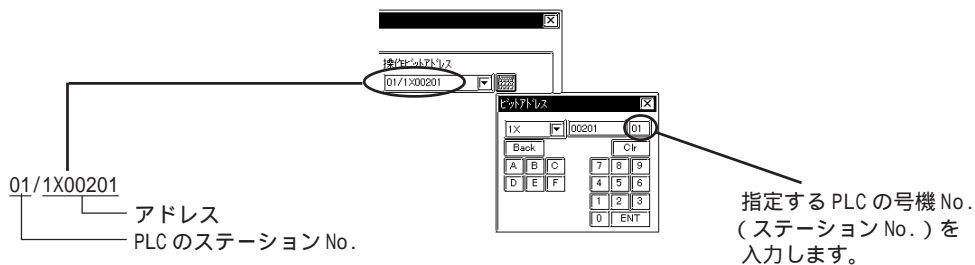
TOYOPUC-PC2 シリーズ (PC2J) (1:n 接続)

GPの設定		PC/CMP-LINKの設定	
伝送速度	19200bps	伝送速度	19200bps
データ長	8bit	データ長	8bit
ストップビット	1bit	ストップビット	1bit
パリティビット	偶数	パリティビット	偶数
制御方式	ER制御	_____	
通信方式	2線式	_____	
号機No. *1	どれかのPC/CMP-LINKのNo.と合わせてください。	局番 *1	すべてのPC/CMP-LINKのNo.を異なるように設定してください。
_____		内部スイッチ (SW4)	1をOFF 2をON

\*1 GPの号機No. と同じNo. を設定したPLCにシステムエリア、読み込みエリアなどに使用するメモリが割り当てられます。



- GP-PRO/PB で部品やタグの設定を行う場合、アドレス入力時にPLCのステーションNo. の指定ができます。ステーションNo. を指定しなかった場合は、ひとつ前に入力された番号を継続します。(起動時のデフォルト値は「1」です)



## TOYOPUC-PC3Jシリーズ (1:1接続) &lt; CPUユニット上のリンク I/F &gt;

GP側の設定		PLC側の設定	
通信速度 *1	19200bps	ボーレート	19200bps
データ長	8bit	データ長	8bit
ストップビット	1bit	ストップビット	1bit
パリティビット	偶数	パリティビット	偶数
制御方式	ER制御	—————	—————
通信方式 *2	4線式または2線式	RS-422通信ポート *2	4線式または2線式
号機No.	0	STATION No.	0

\*1 CPUユニット上のリンク I/F では最高57600bpsまで使用可能です。115200bpsはサポートしていません。

\*2 使用する結線に対応した設定をしてください。

## TOYOPUC-PC3Jシリーズ (1:n接続) &lt; CPUユニット上のリンク I/F &gt;

GP側の設定		PLC側の設定	
通信速度 *1	19200bps	ボーレート	19200bps
データ長	8bit	データ長	8bit
ストップビット	1bit	ストップビット	1bit
パリティビット	偶数	パリティビット	偶数
制御方式	ER制御	—————	—————
通信方式 *2	4線式または2線式	RS-422通信ポート *2	4線式または2線式
号機No. *3	0～15号機までの任意の号機No.	STATION No.	すべてのPLCの号機No.を異なるように設定してください。

\*1 CPUユニット上のリンク I/F では最高57600bpsまで使用可能です。115200bpsはサポートしていません。

\*2 使用する結線に対応した設定をしてください。

\*3 PLCの最大接続台数は16台です。また、号機番号はPLC側では8進数表記ですが、GP側では10進数表記になります。

## TOYOPUC-PC3J シリーズ (1:1 接続) &lt; PC/CMP-LINK &gt;

GP側の設定		PLC側の設定	
通信速度 *1	19200bps	ボーレート	19200bps
データ長	8bit	データ長	8bit
ストップビット	1bit	ストップビット	1bit
パリティビット	偶数	パリティビット	偶数
制御方式	ER制御	—————	—————
通信方式	2線式	RS-422通信ポート *2	2線式
号機No.	0	STATION No.	0
—————	—————	内部スイッチ	SW4-1 OFF SW4-2 ON

\*1 PC/CMP-LINKでは最高57600bpsまで使用可能です。115200bpsはサポートしていません。

\*2 PC/CMP-LINK(THU-2755)を使用する場合には、2線式のみ使用可能です。

また、PC3J用のコマンドを使用する場合には、Ver.5.00以上のリンクユニットが必要です。

## TOYOPUC-PC3J シリーズ (1:n 接続) &lt; PC/CMP-LINK &gt;

GP側の設定		PLC側の設定	
通信速度 *1	19200bps	ボーレート	19200bps
データ長	8bit	データ長	8bit
ストップビット	1bit	ストップビット	1bit
パリティビット	偶数	パリティビット	偶数
制御方式	制御	—————	—————
通信方式	2線式	RS-422通信ポート *2	2線式
号機No. *3	0 ~ 15号機までの任意の号機No.	STATION No.	すべてのPC/CMP-LINKの号機Noを異なるように設定してください。
—————	—————	内部スイッチ	SW4-1 OFF SW4-2 ON

\*1 PC/CMP-LINKでは最高57600bpsまで使用可能です。115200bpsはサポートしていません。

\*2 PC/CMP-LINK(THU-2755)を使用する場合には、2線式のみ使用可能です。

また、PC3J用のコマンドを使用する場合には、Ver.5.00以上のリンクユニットが必要です。

\*3 PLCの最大接続台数は16台です。また、号機番号はPLC側では8進数表記ですが、GP側では10進数表記になります。